



トビタテ！留学 JAPAN 2024 年度募集告知（現中3～高2対象）

日本人高校生・大学生の留学を支援する官民協働プロジェクトであるトビタテ！留学 JAPAN の新年度奨学金プログラムの告知がこのほど始まりました。来年4月からの新年度に高1～高3になる現中3～高2の生徒諸君が対象となります。人数制限もあり応募に当たっては応募前に生徒が独自に作る書類があったり、留学後の普及活動が課されたり様々な条件がありますが、選考を通過すると返済不要の奨学金（全額ではありません）が支給されます。以下公式 HP 及びチラシより概要をご紹介します。

「社会にイノベーションを起こす グローバル探究リーダー」を目指す！ そんな高校生のための海外留学支援制度です。

トビタテ！留学 JAPAN 「新・日本代表プログラム」は、返済不要の奨学金や研修等を通じて、高校生の自由な海外探究活動を産・学・官協働で支援します。

5つの特長

1 民間寄附による返済不要の奨学金
留学日数に応じた奨学金（月12万円/16万円）に加え、留学準備金のサポートも。

2 成績・語学力不問
あなたの情熱・好奇心・独自性を重視します。

3 留学プラン、自由！（14日間～1年間）
留学だけでなく多様な学び方ができます。

4 充実した事前・事後研修
留学前も後も、多様な講師陣や仲間同士で学べる充実の研修を提供。

5 約10,000人のトビタテ生コミュニティ
あらゆる分野で活躍する多彩な先輩トビタテ生と繋がりが切らぬ環境です。

求める人材像

日本の未来を創る将来のグローバル探究リーダーとして、留学を通じて以下に掲げるような素養を身に付ける意欲を有する人材を求めます！

世界の人々との交流を通じて得た学びから、多様な価値観を柔軟に取り入れようとする意欲

独自の視点や考えを有し、社会のために貢献しようとする志

好奇心を原動力にして、自由な発想で新たな価値を創造する力

探究心を持ち続け、視野を広げ情報収集しようとする姿勢

失敗を恐れず、未知の領域に試行錯誤しながら挑戦し続ける強い気持ち

自らリーダーシップを発揮し、周囲を巻き込む力

多様な人々と真摯に向き合い、対話して協働する姿勢

選べる3つのコース

留学計画の内容に沿って、以下の3つのコースから選んで応募しましょう。

マイ探究コース (360名)

好きなこと、得意なこと、挑戦してみたいことなど、自らの興味・関心や自分の中にある問題意識を起点として考えた自由なテーマや課題を設定し、多様な人々との異文化交流を通して、問題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学計画

社会探究コース (200名)

Society5.0やSDGsを踏まえ、世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考え、「自分自身」の立場からできること・できそうなこと・すでに取り組んでいる活動を活かし、自由な発想と創造力をもって課題解決や活性化、社会貢献につながる探究活動に取り組む留学計画

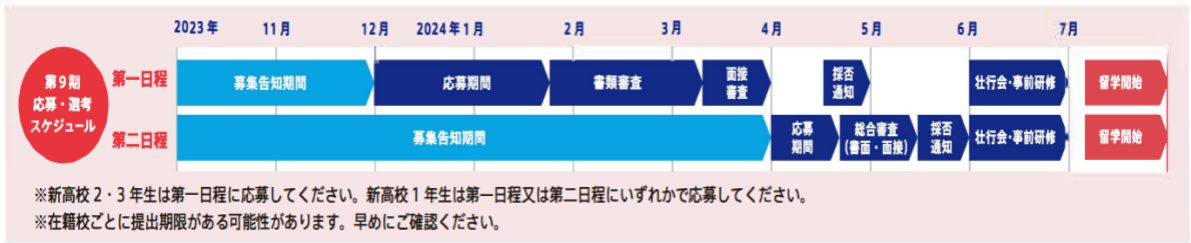
スポーツ・芸術探究コース (140名)

スポーツ・芸術分野について、自らの興味・関心や自分の中にある問題意識を起点として考えたテーマや課題を設定し、課題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学計画（実技経験等は問いません。）

※地域応援枠（15名以上応募のあった都道府県を対象に上位5名を優先して採用）、新高校1年生も全コース応募可能。詳細は募集要項参照。

※マイ探究コース、社会探究コースのうち、支援予定人数の3割程度を【STEAM枠】として支援する予定です。

※応募においては、日本学生支援機構が実施する国内の貸与奨学金「第二種奨学金（予約採用）」に掲げる家計基準を満たしていることが条件になりますが、支援予定人数全体の1割程度を上限に基準外の生徒も採用します。



支援対象となる留学は2024年7月10日～2025年3月31日までのものとなります。まだ具体的な留学プランそのものが未定という場合には新高2・高3の場合は応募が今年の12月から始まりますからのんびりはしてられません。新高1の場合は上記の第二日程でもよいので(但し採用人数は少なくなります)、少し時間的には余裕が出ます。ほとんどの生徒諸君がいずれかの留学団体を通じて興味のあるプログラムを見つけるのが最初のステップとなると思いますが、自分が検討しているプログラムがトビタテの支援対象となるかをよく確認する必要があります。また親御さんの家計基準に応じて支給金額にかなりの差があります。応募は学校を通じて手続きをすることが義務付けられているため、源泉徴収票をご提出いただき親御さんの収入状況をお伺いする手続きが必要となります。学校側としては機微な個人情報を扱うに当たって情報管理はもちろん徹底致しますが、そのような情報を提供することに抵抗をお感じに親御さんもうらっしゃるかと思存します。あいにく制度上どうしても必要で避けて通ることができません。トビタテに応募するにはこの点もご了解の上、ご検討下さいませようお願い致します。

詳細は以下のリンクから公式HP内の「高校生」の部分をご確認下さい。公式HPでは留学に関する役立つ記事のリンクも貼られていますのでそちらもぜひご参考になさって下さい。

[【文部科学省】トビタテ！留学JAPAN - その経験が、未来の自信。\(jasso.go.jp\)](https://www.jasso.go.jp)



高校生の留学を統計から見てみると・・・（文部科学省の資料より）

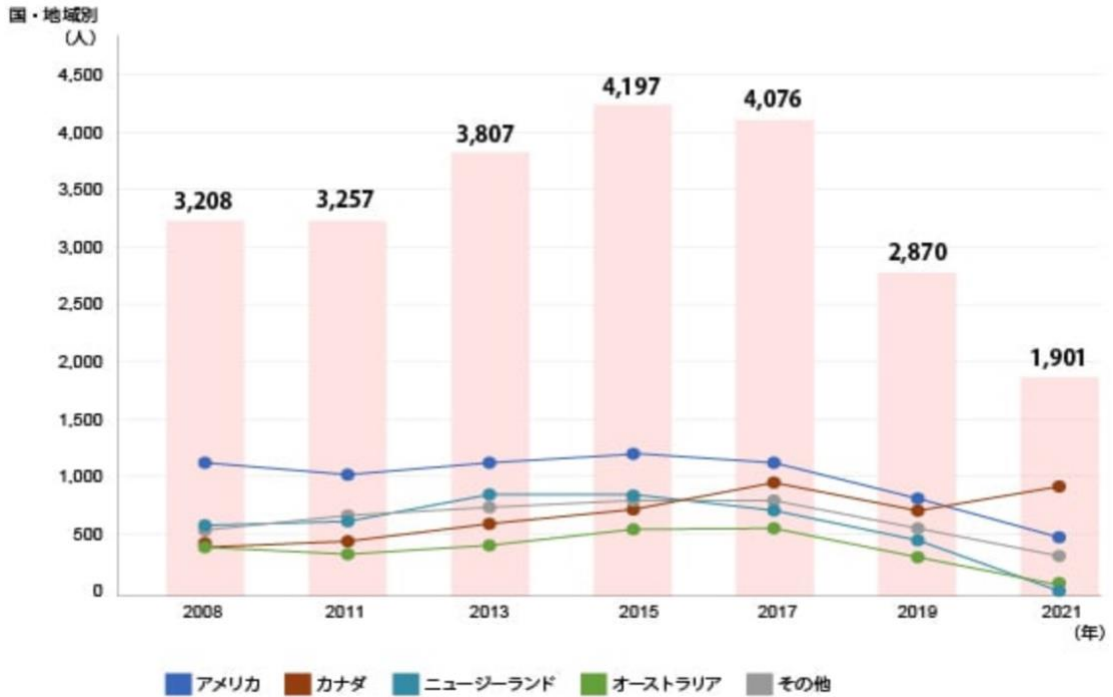
■ 高校生の留學生数の推移



■ 3ヶ月未満の留学（研修国・地域別生徒数の推移）



■ 3ヶ月以上の留学（研修国・地域別生徒数の推移）



2021年の人数が極端に少ないのはもちろん新型コロナウイルスの影響によります。2021年の3ヶ月以上の留学先としてカナダを選んだ生徒が多くニュージーランドが少ないのはニュージーランドの水際対策がいかに厳しかったかを物語っていると言えます。

3ヶ月未満の短期では国名は明記されていませんが、「その他」と示されている国に行った生徒が多いことが分かります。恐らくシンガポール・マレーシアといった欧米よりも移動距離の短いアジア圏の国が含まれていると思われます。3ヶ月以上の場合は2021年以外はアメリカが安定して選択されていることが読み取れます。長期で行くなら普段から情報が入ってきやすいアメリカへという心理が働いているのかもしれない。

2017年をピークに留学人口が低下していますが、渡航制限が世界的に緩和されている現在このグラフは今後どう推移していくのでしょうか？現在移動の自由は確保できたものの、1ドル150円という円安が続くと経済的にかなり負担が重くなっているようで、大学生の中には折角の夢を先延ばししたり、諦めざるを得ないケースも多発しているという報道を目にします。ウクライナや中東での紛争という治安面での心配も尽きません。事情は高校生とて同じです。まずは自分なりにメリット・デメリットを徹底的に洗い出した上で、「メリット>デメリット」と心から納得できた時が自分にとってのベストタイミングではないでしょうか。